

編集・発行 東金市教育委員会 教育部教育総務課

〒283-8511 東金市東岩崎1番地1 東金市役所4階 / TEL 0475-50-1183
 メール: kyoso@city.togane.lg.jp URL: http://www.city.togane.chiba.jp/

第16号

平成31年
1月25日発行

往年の名選手たちがやってきた
宝くじスポーツフェア
ドリーム・ベースボール

平成30年11月4日(日)千葉
県・東金市・一般財団法人自治
総合センターの主催による「宝
くじスポーツフェア ドリー
ム・ベースボール」が東金青年
の森公園野球場において開催さ
れました。金田正一さんや桑田
真澄さんなど元プロ野球選手
20名のドリームチームによる
様々なイベントが行われまし
た。



午前中は、山武郡市内の小
中学生を対象とした「少年少
女ふれあい野球教室」が行わ
れ、約500人が参加されま
した。子どもたちへ身振り手
振りを変えながら熱のこもつ
た指導をしてくれました。

また、東金青年の家では金
田正一さんによるふれあい講
演会が行われ、「私の野球人
生」と題し、多くのオールド
ファンの胸をときめかせてい
ました。

午後には、ドリームチーム
と東金市選抜チームによる
「ドリーム・ゲーム」が約3,
000人の観客のもと行わ
れ、往年の名選手たちのプレ
ーに大きな声援が送られてい
ました。



試合は、元ソフトバンクの
中西健太さんのホームランに
より、2対0でドリームチー
ムが貫禄勝ちしました。東金
市選抜チームの選手からは
「学生時代にテレビで観てい
た桑田選手と対戦できて最高
の思い出となりました」「多く
の観客の前でのプレーは緊張
しました」など話され、有意
義な一日になったことと思
います。



前列左から(敬称略)
 大島康徳、堀内恒夫、加藤秀司、村田兆治、前田幸長、金田正一、谷沢健一、澤井良輔、長谷川昌幸、石毛博史
 後列左から(敬称略)
 桑田真澄、定詰雅彦、仁志敏久、高橋尚成、本間満、村上隆行、松永浩美、鈴木健、桜井広大、中西健太



就学援助制度について

すべての児童生徒が円滑に義務教育を受けられるようにするために、経済的理由により給食費や学用品費などの支払いでお困りのご家庭に対して援助を行っています。援助を希望される方は、東金市教育委員会教育部学校教育課までお問い合わせください。

【対象となる方】

市内小・中学校に通学するお子さんの世帯で次の①～③のいずれかに該当する方。

ただし、前年中の収入額等の合計額が生活保護基準額の1.3倍以下の方。

※基準額を超える収入がある方は対象となりません。

- ①生活保護を受けている方
- ②前年度又は当該年度において、次のいずれかの措置を受けた方
 - ア 生活保護の停止又は廃止
 - イ 市民税の非課税又は減免、個人の事業税の減免、固定資産税の減免
 - ウ 国民年金の掛金の減免
 - エ 国民健康保険料の減免又は徴収の猶予
 - オ 児童扶養手当の支給
 - カ 生活福祉資金の貸付
- ③その他
 - ア 離職又は転職等により、前年と比較して著しく収入が減った方

基準額の目安		
家族人数		基準額
2人	(父又は母・小学生)	277万円
3人	(父又は母・小学生2人)	343万円
4人	(父又は母・小学生2人・中学生1人)	418万円
4人	(父及び母・小学生2人)	362万円

※基準額は年齢構成によって異なります

東金市教育委員会教育部学校教育課学事係

☎ 0475-501184

教育長及び教育委員が新たに任命されました

平成30年10月1日付けで、教育長に飯田秀一氏が再任され、教育委員に石田絢子氏が任命されました。



石田 絢子



飯田 秀一

安曇野市青少年交流事業

安曇野市交流事業として、安曇野市小学生20名が、平成30年7月7日から8日の1泊2日間、東金市を訪問しました。

初日は、城西国際大学留学生と七夕飾り作り、東金青年の家でレジンアクセサリー作りを東金市小学生と共に行い、2日目は九十九里浜で海の塩作り体験を行いました。

一方、東金市小学生34名は、恒例の「あづみの探検隊」として、8月26日から28日の2泊3日間、安曇野市を訪問しました。

ここでは、山国ならではの自然に触れながら昨年も実施した現地小学生との交流を行い、また、今年度新たに、いちご狩り収穫体験を現地の方に教わりながら行いました。

他にもキャンプファイヤー、そば打ち体験を実施するなど、参加者はあづみの自然と文化を体験してまいりました。



いちご狩りを教えてください
さった地元の方と一緒に



城西国際大学留学生
と英語による交流会



中央公民館における
放課後子ども教室

夏休み期間中に鵜嶺・福岡・源の3小学校区、冬休み期間中に鵜嶺・福岡の2小学校区の小学生を対象に放課後子ども教室を実施しました。

参加者は各自宿題・ドリルなどの教材を持ち込み、自習形式で学習を進め、支援員である退職教員の先生方や大学生などから、勉強を教わりました。参加者からは「すごくよかった」「先生の教え方がわかりやすかった」などの声がありました。2月には、引き続き、豊成小学校区でも実施する予定です。

放課後子ども教室推進事業

ワクワク登校

教育委員 鈴木 正明

「ワクワク登校・イキイキ学習・ニコニコ下校」「期待の登校・充実の学習・満足の下校」、子どもたちや教職員がそんな気持ちで学校生活を送ってほしいと願っています。

子どもたちが朝起きた時、早く学校に行きたいなと思い、ワクワク期待して登校する。瞳輝き、イキイキと充実した学習や活動をする。一日終わったとき、「楽しかった。」「やったあ。」という満足感を味わってニコニコ笑顔で下校する。そんな毎日であつてほしいと思います。

教育委員会では、学校教育指導の指針で「学力向上、長欠解消、いじめ防止」を重点に掲げ、子どもたちの「生きる力」の育成を推進しています。ワクワク登校できるように学校教育の様々な環境整備をしていくことが大切と考えています。

また、学習することは学校で完結するわけではありません。生涯学習という言葉があります。1965年にユネスコの会議でフランスのポール・ラングランという人が提唱したものです。いつでも、どこでも、私たちが自発的意欲に基づいて生涯にわたって行う学習活動です。

変化の激しい、日々進展する今の時代、学校を卒業してからの学習も重要であるといえます。仕事にかかわる学習や、趣味や娯楽、ボランティア等々、豊かな充実した人生を送るための学習を続けていくこととなります。

その生涯学習社会の実現のための環境整備をしていくことも求められています。

私は、平成29年12月に、教育委員に任命されました。微力ではありますが、東金市の学校教育や生涯学習の充実発展に努力していきたいと思っています。

第2回

幼稚園 紹介

東金市立城西幼稚園

教育目標

安心安全な集団生活の中で、人とのかかわりや環境をとおして様々な経験を重ね、心豊かにたくましく、未来を生きる力を育む。

城西幼稚園は、昭和49年4月1日、4歳児1学級、5歳児1学級で開園しました。平成20年4月に新園舎が完成し、3歳児保育開始とともに3学級編制となり、現在は、3歳児22名、4歳児24名、5歳児28名、全園児数74名となっています(12月1日現在)。保育室に隣接したプレイホールを生かし、遊びや生活の中で異年齢が日常にかかわることで、様々な刺激を受けています。城西幼稚園では、保護者や地域の方など、色々な人とのかかわりを大切に、子ども達一人一人に寄り添った保育を心がけています。

